

●目標設定の方法分類●

① 国や府の計画における目標値を参考に設定する。
(国等が〇%減少など変化量を目標にしている場合は、国の取組期間が12年と、市の取組期間のおよそ2倍であることを考慮し、市は半分の変化量とする。)

② ベースライン値がすでに国や府の目標を達成している場合は、相対的に5%増減を目標とする。

③ 国や府の参考指標がない場合は、相対的に10%増減を目標とする。

④ 国や府の目標値とベースライン値の乖離が大きく、目標達成が著しく困難であると考えられるものは、相対的に30%増減を目標とする。

⑤ その他(市の状況等を鑑み、必要があると考える項目は独自に設定する。)

【指標総数：45項目】

■当初目標から再設定したもの：36項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：7項目 ②：4項目 ③：8項目 ④：9項目 ⑤：8項目

・指標も変更したもの：2項目

■当初目標と変わらないもの：9項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：2項目 ②：0項目 ③：2項目 ④：0項目 ⑤：5項目

1. 当初目標から再設定したもの

目標			No	指標	指標データソース	R3現状値		当初目標値	問	R6現状値(ベースライン値)		再設定した目標値	分類	目標値設定方法等
生活習慣の改善・フレイル対策	栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加	1	BMI20以下の高齢者(75歳以上)の割合	後期高齢者健診	18.3%	R3	減少		20.8%	R5	18.7%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(減)
		小・中学生における肥満傾向児の減少	2	小・中学生における肥満傾向児の割合	学校定期健康診断	13.6%	R4	減少		13.4%	R5	12.1%	③	国(成育医療等基本方針)=減少 市=相対的に10%(減)
		バランスの良い食事を摂っている者の増加	3	1日2回以上バランスの良い食事(主食・主菜・副菜を揃えた食事のこと)を食べている者の割合	市民アンケート	70.1%	R3	増加	11	68.1%	R6	71.5%	②	国=50% 市=相対的に5%(増)
		野菜摂取量の増加	4-1	野菜をしっかりと食べていると答えた者の割合	市民アンケート	44.2%	R3	50%	13	—		—		国・府=350g以上/1日野菜摂取量 市=相対的に10%(増) ※「野菜をしっかりと食べていると認識している割合」と「1日5皿(350g)以上食べている割合」に乖離があるため、国・府の目標(1日350g以上摂取)に基づき後者を基準に目標を見直し、相対的10%増加を目指す。
			4-2	1日あたりの野菜の皿数が5皿(350g)以上食べている者の割合	市民アンケート	なし		なし	12	26.5%	R6	29.2%	③	
		朝食を欠食する者の減少	5	朝食を食べていない者の割合	市民アンケート	11.1%	R3	減少	15	9%	R6	8.6%	②	国(第4次食育推進基本計画)、府(第3次大阪府食育推進計画)=15%以下 市=相対的に5%(減)
		共食している者の増加	6	朝食または夕食を同居人と一緒に食べている者の割合(週に4~5日以上)	市民アンケート	朝食 45.4% 夕食 67.1%	R3	80%	16	朝食 51.9% 夕食 78.1%	R6	朝食 54.5% 夕食 82.0%	⑤	国(第4次食育推進基本計画)、府(第3次大阪府食育推進計画)=週11回以上 市=相対的に5%(増) ※生活スタイルが多様化しており一概に増加させることは困難な指標であるため
	運動・身体活動	日常生活における歩数の増加	7-1	1日の歩数の平均値	市民アンケート	なし		7,100歩	18	—		—		国・府=7,100歩 市=相対的に10%(増) ※国は1日の歩数の目標値を7,100歩としているが、「年代に応じた適正な歩数を歩いている者の割合」の目標なし。
			7-2	年代に応じた適正な歩数を歩いている者の割合(65歳未満:8,000歩以上、65歳以上6,000歩以上)	市民アンケート	なし		なし	18	65歳未満 23.1% 65歳以上 23.5%	R6	65歳未満 25.4% 65歳以上 25.9%	③	※「健康づくりのための身体活動・運動ガイド」では、1日の歩数の目標値を成人(20~64歳)は8,000歩以上/日、高齢者は6,000歩以上/日を推奨されている。
		運動習慣をもつ者の増加	8	1回30分以上の運動・スポーツを週2回以上、1年以上継続している者の割合	市民アンケート	35.7%	R3	40%	19	40.6%	R6	44.7%	⑤	国=40% 市=相対的に10%(増) 国の指標はほぼ達成済みのため、本来は「②相対値5%増加」を目標とするが、市の取組みを考慮し「⑤相対値10%増加」を目標とする。
	休養・睡眠	睡眠で休養がとれている者の増加	9	睡眠による休養が十分とれている者の割合	市民アンケート	74.3%	R3	80%	22	68.6%	R6	72.0%	⑤	国=80% 市=相対的に5%(増)
	たばこ	喫煙率の減少	10	20歳以上の喫煙率	市民アンケート	男性 26.3% 女性 7.7%	R3	男性 21.0% 女性 6.5%	23	男性 22.6% 女性 7.3%	R6	男性 20.5% 女性 6.8%	⑤	国=12% 禁煙成功率=男4割、女3割を加味 喫煙率のベースライン値が国よりも高いため、市独自で目標設定する。
		妊婦の喫煙率の減少	11	妊婦の喫煙率	4か月児健診	3.6%	R4	3.2%		3.3%	R5	2.3%	④	国=0% 市=相対的に30%(増)

●目標設定の方法分類●

① 国や府の計画における目標値を参考に設定する。
(国等が〇%減少など変化量を目標にしている場合は、国の取組期間が12年と、市の取組期間のおよそ2倍であることを考慮し、市は半分の変化量とする。)

② ベースライン値がすでに国や府の目標を達成している場合は、相対的に5%増減を目標とする。

③ 国や府の参考指標がない場合は、相対的に10%増減を目標とする。

④ 国や府の目標値とベースライン値の乖離が大きく、目標達成が著しく困難であると考えられるものは、相対的に30%増減を目標とする。

⑤ その他(市の状況等を鑑み、必要があると考える項目は独自に設定する。)

【指標総数：45項目】

■当初目標から再設定したもの：36項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：7項目 ②：4項目 ③：8項目 ④：9項目 ⑤：8項目

・指標も変更したもの：2項目

■当初目標と変わらないもの：9項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：2項目 ②：0項目 ③：2項目 ④：0項目 ⑤：5項目

目標			No	指標	指標データソース	R3現状値		当初目標値	間	R6現状値(ベースライン値)		再設定した目標値	分類	目標値設定方法等
生活習慣の改善・フレイル対策	歯と口の健康	歯周病を有する者の減少	12	成人歯科健康診査における歯周炎(歯周ポケット6mm以上)にかかっている者の割合	成人歯科健診結果	26.3%	R3	26%		25.7%	R5	24.4%	②	国=40% 市=相対的に5%(減)
		よく噛んで食べることができる者の増加	13	よく噛んで食べることができると答えた者の割合	市民アンケート	なし		増加	29	76.8%	R6	80%	①	国=80%
		歯科健(検)診の受診者の増加	14	過去1年間に歯科健(検)診を受診した者の割合	成人歯科健診結果	42.3%	R3	55%		46.2%	R5	60.1%	④	国=95% 市=相対的に30%(増)
		う蝕を有する乳幼児の減少	15	3歳でむし歯のない(治療歯もない)子どもの割合	3歳6か月児健診	3歳6か月児89.3%	R3	91.1%		90.7%	R5	95.0%	①	国(成育医療等基本方針)=95%
		う蝕を有する児童・生徒の減少	16	12歳でむし歯のない(治療歯もない)子どもの割合	学校歯科健診	小学6年生76.5%	R3	小学6年生80%		85.0%	R5	88.0%	⑤	国(成育医療等基本方針)=95%(10代)毎年0.5%増加するとして設定する。
	日常生活機能	社会活動を行っている者の増加	17	いずれかの社会活動(就労・就学を含む。)を行っている者の割合	市民アンケート	なし		増加	33	74.5%	R6	77.0%	①	国=ベースライン値より 5%(増) 市=ベースライン値より2.5%(増) ※計画期間1/2のため
		骨粗鬆症検診受診率の向上	18	骨密度検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	2.93%	R3	増加		2.4%	R5	3.12%	④	国=15% 府=15% 市=相対的に30%(増)
生活習慣病の発症予防・重症化	がん	がん検診の受診率の向上	19	胃がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	2.2%	R3	増加		1.78%	R5	2.31%	④	国=60%(第4期がん対策基本計画)、府=50% 市=相対的に30%(増)
			20	肺がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	3.86%	R3	増加		3.39%	R5	4.41%	④	国=60%(第4期がん対策基本計画)、府=50% 市=相対的に30%(増)
			21	大腸がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	4.67%	R3	増加		4.42%	R5	5.75%	④	国=60%(第4期がん対策基本計画)、府=50% 市=相対的に30%(増)
			22	乳がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	マンモ5.21% エコー 4.4%	R3	増加		マンモ4.58% エコー3.75%	R5	マンモ5.95% エコー4.88%	④	国=60%(第4期がん対策基本計画)、府=50% 市=相対的に30%(増)
			23	子宮がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	5.21%	R3	増加		4.65%	R5	6.05%	④	国=60%(第4期がん対策基本計画)、府=50% 市=相対的に30%(増)
生活習慣病の発症予防・重症化予防	循環器病・糖尿病	高血圧の改善	24	高血圧Ⅱ度以上に該当する者の割合	KDBデータ	7.0%	R3	減少		7.1%	R4	6.4%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(減)
		メタボリックシンドロームの該当者の減少	25	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群に該当する者の割合	特定健康診査等の実施状況に関する結果	33.3%	R3	22.8%		33.7%	R5	減少	⑤	寝屋川市第3期国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)及び寝屋川市第4期特定健康診査等実施計画<<令和6年度から令和11年度>>
		特定健康診査の受診率の向上	26	特定健康診査受診率	特定健康診査等の実施状況に関する結果	33.6%	R3	増加		34%	R5	60%	①	国=60%(第4期医療費適正化計画)
		特定保健指導の実施率の向上	27	特定保健指導の実施率	特定健康診査等の実施状況に関する結果	17%	R3	増加		16.9%	R5	60%	①	国=60%(第4期医療費適正化計画)
		血糖高値者の減少	28	血糖高値者(HbA1c6.5%以上)の割合	KDBデータ	10.1%	R3	減少		9.1%	R4	8.2%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(減)
	COPD	COPDの死亡率の減少	29	COPDの死亡率(人口10万人あたり)	人口動態調査	13.8	R2	減少		22.0%	R4	15.4%	④	国=10% 市=相対的に30%(減)

●目標設定の方法分類●

① 国や府の計画における目標値を参考に設定する。
(国等が〇%減少など変化量を目標にしている場合は、国の取組期間が12年と、市の取組期間のおよそ2倍であることを考慮し、市は半分の変化量とする。)

② ベースライン値がすでに国や府の目標を達成している場合は、相対的に5%増減を目標とする。

③ 国や府の参考指標がない場合は、相対的に10%増減を目標とする。

④ 国や府の目標値とベースライン値の乖離が大きく、目標達成が著しく困難であると考えられるものは、相対的に30%増減を目標とする。

⑤ その他(市の状況等を鑑み、必要があると考える項目は独自に設定する。)

【指標総数：45項目】

■当初目標から再設定したもの：36項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：7項目 ②：4項目 ③：8項目 ④：9項目 ⑤：8項目

・指標も変更したもの：2項目

■当初目標と変わらないもの：9項目

・目標設定の方法分類内訳 ①：2項目 ②：0項目 ③：2項目 ④：0項目 ⑤：5項目

目標			No	指標	指標データソース	R3現状値		当初目標値	間	R6現状値(ベースライン値)		再設定した目標値	分類	目標値設定方法等
誰もが自然に健康になれるまちづくり	社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	地域等で共食している者の増加	30	地域等で共食している者の割合	市民アンケート	なし		増加	35	38%	R6	39.9%	②	国=30% 市=相対的に5%(増)
		心理的苦痛を感じている者の減少	31	K6(こころの状態を評価する指標)の合計得点が10点以上の者の割合	市民アンケート	12.2%	R3	減少	38	14%	R6	13.5%	①	国=ベースライン値より 1%(減) 市=ベースライン値より0.5%(減) ※計画期間1/2のため
		自殺者の減少	32	自殺死亡率(人口10万人あたり)	地域における自殺の基礎資料	17.79	R3	減少		16.26%	R5	13.8%	①	国(自殺総合対策大綱)=自殺死亡率を令和8年までに平成27年と比べ30%以上減少(=12年で30%、6年で15.0%減) 16.26×0.85=13.82
		ストレス軽減のための行動をとれている者の増加	33	ストレス軽減のための行動をとれている者の割合	市民アンケート	58%	R3	70%	36-1	58.1%	R6	63.9%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(増)
		悩み事を相談することができる支援機関を知っている者の増加	34	悩み事を相談することができる支援機関を知っている者の割合	市民アンケート	なし		増加	37	74.5%	R6	82%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(増)
	自然に健康になれる環境づくり	受動喫煙の機会を有する者の減少	35	過去1か月以内に、屋内における望まない受動喫煙にさらされる機会のあった者の割合	市民アンケート	なし		減少	25	35.3%	R6	23.3%	⑤	国=なし 「寝屋川市子どもの健やかな成長のための受動喫煙防止条例」に基づく取組を推進するために、ベースライン値より年2%減を目標とする。年2%×6年=12%(減)
		家庭内で受動喫煙にさらされる子どもの割合の減少	36	家庭内で日常的に受動喫煙にさらされる機会のある子どもの割合	市民アンケート	なし		減少	26	6.4%	R6	3.2%	⑤	国=なし 市=相対的に50%(減) ※「寝屋川市子どもの健やかな成長のための受動喫煙防止条例」に基づく取組を推進するため

2. 当初目標と変わらないもの

目標		NO	指標	指標データソース	R3現状値		当初目標	間	R6現状値(ベースライン値)		目標値	分類	目標値設定方法等
健康寿命の延伸		37	日常生活動作が自立している期間(要介護2以上になるまでの期間)の平均	国保データベース(KDB)システム(大阪府調べ)	男性 79.1歳 女性 83.8歳	R2	増加		男性 78.7歳 女性 83.2歳	R4	増加	⑤	
栄養・食生活	適正体重を維持している者の増加	38	BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満)	市民アンケート	62.7%	R3	66%	9	63.2%	R6	66%	①	国=66%
	食塩摂取量の減少	39	食塩を多く含む食品を控えるようにしている者の割合	市民アンケート	58.9%	R3	65%	14	58.9%	R6	65.0%	③	国・府=7g以下/日 市=相対的に10%(増)
アルコール	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少	40	飲酒者のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	市民アンケート	男性 26.5% 女性 24.7%	R3	男性 25.5% 女性 23.7%	28-1	男性 29.8% 女性 46%	R6	男性 25.5% 女性 23.7%	⑤	国=10% 予想していたよりもベースライン値が高く出たため、令和3年度の現状値から1%減少を目標とした当初目標を目指す。
歯と口の健康	歯科健(検)診の受診者の増加	41	成人歯科健康診査の受診率	成人歯科健診結果	10.2%	R3	12%		10.6%	R5	12.0%	③	国・府=なし 市=相対的に10%(増)
	歯の喪失の防止	42	60歳で24本以上の歯を有する者の割合	成人歯科健診結果	91.6%	R3	95%		91.3%	R5	95%	①	国=95%
社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	ゲートキーパー数の増加	43	ゲートキーパー研修の受講者数(累積)	ゲートキーパー養成研修	702人	H27~R4	1,400人		794人	H27~R5	1,400人	⑤	年間約100人を目標にゲートキーパーを養成するため、ベースライン値から600人増を目標とする。
自然に健康になれる環境づくり	ヘルシーメニューを提供する飲食店等の増加	44	「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店舗数(累積)	大阪ヘルシー外食推進協議会事業報告	476店舗	~R4	490店舗		479店舗	R5	490店舗	⑤	
誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備	働く人の健康づくりを意識する企業の増加	45	地域・職域連携推進会議のワーキンググループの「働く人の健康づくり会議に」参加する企業数	会議に参加した企業数	6社	R4	増加		6社	R6	増加	⑤	国・府=なし 明確な数値根拠がないため、現状より増加を目標とする。